

Proposal-based collaborative projects

令和6年度



提案型協働事業活動報告集

狭山市役所 自治文化課



～ わたしたちが創る
笑顔あふれるまち狭山 ～



SAYAMA CITY



目 次

I. 「協働」について

- 協働～地域課題の解決のために～ 2
- 提案型協働事業とは 2
- 令和6年度提案型協働事業一覧 3

II. 令和6年度提案型協働事業活動報告

○ 市民提案型協働事業

- 1.人生100年時代の音楽健康レクリエーション「ヨッコラショーズ」
（実施団体:童謡を歌う会そよ風） 5
- 2.にじいろ体操教室
（実施団体:一般社団法人mama's community） 7
- 3.狭山市探訪ウォーキングマップの制作
（実施団体:NPO法人さやま生涯学習をすすめる市民の会） 9
- 4.おさがり交換会
（実施団体:特定非営利活動法人こそだて支援 comono） 11
- 5.イベント型子どもの居場所づくり事業(ねこのたまり場)
（実施団体:特定非営利活動法人 AKTO） 13
- 6. Hospitality Halloween
「AIクッキング(お菓子作り体験)、トリックオアトリート、フォトスポット」
（実施団体:Hospitality Halloween 実行委員会） 15

○ 行政提案型協働事業

1.集まれ、オンラインしゃべり場

(実施団体:NPO法人地域教育ネットワーク) 17

2.災害時に活躍するアマチュア無線ネットワークの構築

(実施団体:狭山非常通信チーム) 19

○過去3年分の提案型協働事業一覧 21

Ⅲ. 協働事業の実施の流れ

○ 提案型協働事業チェックシート 23

○ 協働事業提案制度(提案型協働事業)年間スケジュール 24

○ 参考資料 26

協働の1ページを
めくろう！



狭山市 セタの妖精

おりひい

I. 「協働」について



協働～地域課題の解決のために～

近年、人口の減少や急速な少子高齢化の進行や経済状況の悪化などの影響により、地域の活力が失われつつあり、様々な地域課題を解決するための取り組みがより一層求められています。

そのような中、本市では平成31年4月に「狭山市協働によるまちづくり条例」を施行し、「自分たちのまちは、自分たちでつくる」を合言葉に、心豊かで活力に満ちた地域社会の実現目指して、市民と市との協働によるまちづくりを推進しています。

提案型協働事業とは

市では、協働によるまちづくりを推進する1つの手法として、提案型協働事業を実施しています。

提案型協働事業とは、地域課題や行政課題を自ら解決しようとする市民活動団体等から、各団体の専門性や柔軟性等を活かした公益的な事業を募集し、提案された事業の実施にあたり、市が必要な情報提供や情報発信、経費等の支援を行うことで、市民主体のまちづくりを推進しています。

提案型協働事業には次の2つの事業があります。

市民提案型協働事業

地域課題などの解決に向けて市と協働で実施したい事業を自由に企画・提案する事業

行政提案型協働事業

市が市民活動団体等と協働で実施したい公共的な課題をテーマにし、そのテーマに沿った提案を募集する事業

令和6年度提案型協働事業一覧

★市民提案型協働事業

	事業名	団体名
1	人生100年時代の音楽健康 レクリエーション「ヨッコラショーズ」	童謡を歌う会そよ風
2	にじいろ体操教室	一般社団法人 mama's community
3	狭山市探訪ウォーキングマップの制作	NPO法人さやま 生涯学習をすすめる市民の会
4	おさがり交換会	特定非営利活動法人 こそだて支援 comono
5	イベント型子どもの居場所づくり事業 (ねこのたまり場)	特定非営利活動法人 AKTO
6	Hospitality Halloween「AIクッキン グ(お菓子作り体験)、トリックオアトリート、 フोटスポット」	Hospitality Halloween 実行委員会

★行政提案型協働事業

	事業名	団体名
1	集まれ、オンラインしゃべり場	NPO法人地域教育ネットワーク
2	災害時に活躍する アマチュア無線ネットワークの構築	狭山非常通信チーム

この活動報告書では令和6年度の提案型協働事業
8事業の活動の様子を報告します。

Ⅱ. 令和6年度提案型協働 事業活動報告



市民提案型協働事業①

事業名： 人生100年時代の音楽健康
レクリエーション「ヨッコラショーズ」

団体名： 童謡を歌う会 そよ風

担当課： 高齢者支援課

事業費： 288,009円

補助金額： 110,000円

● 事業概要

音楽を利用して、愉しく脳トレゲームや歌唱、口腔・手指・身体の軽い運動などを行い、参加者間の交流で社会との繋がりを保つ。



● 事業の目的・ねらい

音楽を利用して、高齢化に伴う健康寿命の延伸を図り、フレイルの改善や進行の遅延を目指す一助とする。

● 活動内容(事業スケジュール)



実施時期	実施内容
R6.4	事業開始準備会 事業開始のための担当者会議 口腔運動 パタカラ 季節の歌 歌あそび(交互唱・替歌など) 歌体操 希望曲唱
R6.5	上記ほか(歌に合わせて足踏み・手拍子など)
R6.6	上記ほか(手指の運動など)
R6.7	上記ほか(手首の体操など)
R6.9	上記ほか(○の歌詞を△の曲で歌うなど)
R6.10	上記ほか(参加者の故郷の話など)
R6.11	上記ほか(手話で歌うなど)
R6.12	上記ほか(小楽器演奏遊びなど)
R7.1	上記ほか(歌おみくじゲームなど)
R7.2	上記ほか(早口言葉など)
R7.3	上記ほか(五十音唱など)

● 事業の成果

- ・参加者は、「開催が楽しみで」と毎回開会時刻より早々に出席し、参加者間の交流が多くなった。
- ・事業で実施している歌体操・歌利用の脳トレなどを家でも行っているとの声があった。
- ・参加者は、家族にこの事業に参加してから、「なんだか明るくなったね」と言われている。
- ・参加者は、毎回休まず来たいから、日頃からなるべく歩いているとのこと。
- ・軽度認知症の家族より、「安心して出せる場所が出来て感謝。家族もホッとできる時間が生まれて有難い」との声があった。

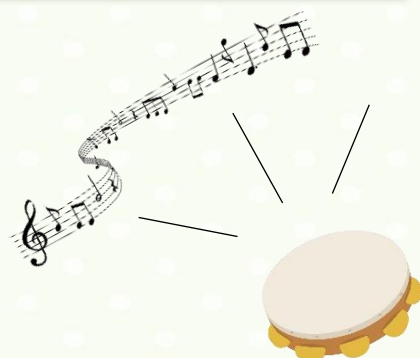
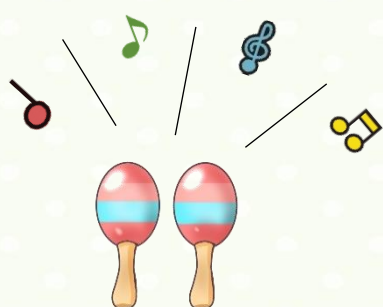
● 今後の展望・課題

この事業の継続には、介護予防・認知症予防の多少の識見を元にプログラム構成ができなければ、効果は得られないが、指導者の確保が困難である。晩歳を顧みず、協働事業に応募し、運よく採択されたが、今後の後継問題に苦慮している。個人情報保護問題で、市内の資格保持者が探せない現状もある。一つの案として、参加者の中で、当問題に多少知識のある者（資格所持者でなくても）に、持っている知識を提供してもらい活動の存続を期待している。

● 協働事業の評価(団体と担当課で実施)

参加者からの意見のとおり、歌や体操を通じ高齢者の健康寿命の延伸に加え、ヨッコラショーズが高齢者のひとつの居場所となった。

● 活動の様子



市民提案型協働事業②

事業名： にじいろ体操教室

団体名： 一般社団法人

mama's community

担当課： 障がい者福祉課

事業費： 562,159円

補助金額： 318,000円

団体情報



@NIJIRO.TAISO.SAYAMA

Instagram



事業概要

障がい児や発達凸凹、グレーゾーンと呼ばれる子、大病してリハビリが必要な子、不登校の子などを対象に支援を行い体操教室やイベントなどを行う。



事業の目的・ねらい

- ・障がい児が参加できる習い事やイベントを開催。
- ・障がい児やきょうだい児、その親御さんが安心して参加できる場をつくる。
- ・障がい児を育てる親御さんの働き先をつくる。
- ・情報交換の場づくり。

活動内容(事業スケジュール)

実施時期	実施内容
R6.4～ R7.3	毎月2回土曜日に体操教室を開催 市内の支援級へチラシ500枚を配布 アンケート実施
R6.7	手洗いイベント実施、生活クラブ狭山市部協力

事業の成果

- ・協働事業2年目ということもあり、参加するご家庭の定着ができた。
- ・親御さんの理解と協力体制が整って怪我なく運営できた。
- ・学校体育でやることにチャレンジ。(アンケートでのご要望、学校体育、側転や鬼ごっこなどを積極的に取り入れた)
- ・スタッフ、参加される親御さんの理解や悩み解決を目的とした性教育、防災講座も同時進行で行い情報交換できた。



● 今後の展望・課題



- ・支援学校へのアプローチ。
- ・からだは一生使うので生活訓練の一つとして障がい児や発達障がい児、グレーゾーンと呼ばれる子、大病してリハビリが必要な子、不登校の子など、にじいろ体操教室などを通してからだの土台づくりに励んでもらう。
- ・月謝制を視野に入れて活動。



● 協働事業の評価(団体と担当課で実施)

○事業内容の評価

- ・障がいがあるこども達やグレーゾーンのこども達が安心して通える習いごと(体操教室)作り、居場所作りを達成した。
- ・きょうだい児が共に通えることで気持ちの発散につなげることができ、こども達の笑顔が増えた。
- ・幼稚園や学校の体育でできないことを一緒に練習することができた。
- ・「にじいろ体操教室」に通うこども達の母親をスタッフに迎えることで、社会とのつながりや仕事にもなり、保護者達の居場所も作ることができた。
- ・保護者向けの講座を開催し、保護者達の知識向上につなげることができた。

○協働の成果

- ・広報さやま、狭山市公式ホームページに加え、狭山市内の小学校と中学校にチラシ配布し、多くの方に周知することができた。

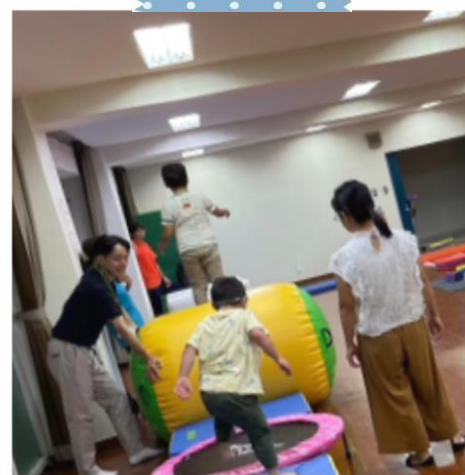
● 活動の様子



体操教室の様子



コロコロ移動



トランポリン

市民提案型協働事業③

事業名： 狭山市探訪ウォーキングマップの制作

団体名： NPO法人さやま生涯学習をすすめる
市民の会

担当課： 社会教育課

事業費： 343,103円

補助金額： 244,000円

狭山おさんぽマップ

検索



▲狭山市ホームページ
(狭山おさんぽマップ)

団体情報



● 事業概要

狭山市の歴史・文化などに親しむツールとして活用できるような、狭山市の史跡旧跡、文化財や名所などを巡るウォーキングマップを制作する。市内外の多くの人が狭山を探訪してくれるように広報する。

● 事業の目的・ねらい

- ・狭山市には多くの史跡旧跡や見どころが存在するが、それが魅力として知られていない。市内6地区に関し、地区毎に史跡旧跡、文化財や名所を巡るウォーキングマップを3カ年計画で制作する。(第二期2地区)
- ・制作にあたっては、実際に歩いてみて、実用的なウォーキングコースを開発する。
- ・生涯学習の視点を入れ、狭山の魅力を開拓し、だれもが親しみやすいウォーキングマップの形にすることによって、市内外を問わず、多くの人に狭山をより深く知ってもらう。

● 活動内容(事業スケジュール)



実施時期	実施内容
R6.5～9	第二期の対象2地区の選定とコース検討会議の開催(会議3回)
R6.10～12	ウォーキングコースの設定と実証確認(会議1回、実地検証6回)
R6.12～ R7.2	コース設定のまとめと、印刷用原稿の作成作業(会議1回)
R7.2・3	マップの印刷作業(発注、校正)、ウェブサイトの準備
通年	マップを使用したウォーキングイベントの開催(3回)

● 事業の成果

- ・第二期として、柏原・智光山公園エリアおよび新狭山・奥富エリアを選定し、それぞれウォーキングマップ「狭山おさんぽマップ」を制作した。
- ・マップ紙面には、コース地図、および主要な見どころの写真と簡単な説明を記載。また、見どころには関連ウェブサイトへリンクした二次元コードを掲載し、紙面上掲載内容のより詳しい情報に簡単にアクセスできるようにした。
- ・マップ協賛事業者を募り8事業者の協賛を得て、広告をマップに掲載した。
- ・第一期で制作したマップ(入間川・入間市方面および広瀬・水富・笹井エリア)は各公民館で配布し、合わせてウェブサイトに掲載した。
- ・海外からの来訪者や在留外国人を視野に第一期分の英文対訳資料を作成し、ウェブサイトに掲載した。
- ・マップを使用したイベントを令和6年5月・10月、令和7年3月と合計3回開催した。なお、参加者から参加費用を徴収した。

● 今後の展望・課題

- ・第二期について、制作したマップを各公民館で配布できる様に手配し、またウェブサイトにも掲載する。
- ・協賛事業者8社においても顧客へのマップ配布と広報活動の協力を依頼する。
- ・第二期についてマップを使用したウォーキングイベントを開催する。また、マップやウォーキングイベントをより多くの人に知ってもらうため、チラシや電子媒体による広報活動を強化する。
- ・第二期について英語対訳資料を制作してウェブサイトに掲載する。
- ・第三期として、新たに2地区(入曽・堀兼地区、入曽・水野地区)を選定し、マップを制作する。第一期・二期の実績を踏まえ年間スケジュールを計画する。

● 協働事業の評価(団体と担当課で実施)

- ・第二期として、2地区を対象に手軽に狭山市の魅力を発見・再発見できる「おさんぽマップ」を制作できた。
- ・第一期同様マップ紙面と関連ウォーキングイベントとを連携して、現代にマッチした形にしたことで、幅広い層に利用してもらえるマップとなったが、より多くの人たちにマップを広く活用してもらうための広報活動は今後の課題。
- ・マップ活動を継続するために、ウォーキングイベントの参加者から参加費を徴収したが、事業資金確保の観点から参加者を増やしイベント規模を拡大するための検討が必要。

● 活動の様子



◀ コース検討会議



◀ マップを使用したイベント
(笹井・水富地区)

市民提案型協働事業④

事業名：おさがり交換会
 団体名：特定非営利活動法人
 こそだて支援 comono
 担当課：環境課 奥富環境センター
 事業費：155,126円
 補助金額：155,000円

団体情報



▲Facebook



▲LINE



▲Instagram

● 事業概要

- ・リサイクル及びリユースを自然と行うことができる機会の提供。
- ・育児中の保護者の居場所作り。



● 事業の目的・ねらい

稲荷山環境センターにてリサイクル、リユースできる機会の提供および育児中の保護者の居場所作りを目的として、どなたでも参加できるおさがり交換会を実施。

● 活動内容(事業スケジュール)

実施時期	実施内容
R6.4	関係者ミーティング、メンバーミーティング、備品・消耗品購入、費用準備、配置図作成、ボランティア説明資料作成、アナウンス内容作成、SNS周知、おさがり品回収、第1回おさがり交換会の実施、おさがり品整理・計量・保管、関係者へ報告、課題まとめ
R6.7	//
R6.10	//
R7.1	//
R7.2	会場、倉庫片付け、清掃、備品・おさがり品の整理
R7.3	関係者ミーティング、書類整理、費用精算、報告書作成

● 事業の成果

- ・回を追うごとに参加者が増加した。
- ・家族みんなで参加されたり、お友達同士で誘い合って参加されていたりと育児中の方の居場所となった。
- ・プレイスや児童館でおさがり交換会を話題にして交流が生まれた。
- ・廃棄分が持ち込み量の1/10以下となった。
- ・廃棄分の内、古紙、古布、プラスチックなどをリサイクルにまわすことができた。

● 今後の展望・課題



- ・“孤育て”が軽減されるような居場所として継続する。
- ・環境保全となるリユース・リサイクルにつながる場として継続する。
- ・市と子育て世代、他の世代を含めた市民がつながる場として継続する。
- ・継続的な事業として成り立つ体制を整える。



● 協働事業の評価(団体と担当課で実施)



○事業内容の評価

- ・広い会場を使えたことで、想定以上の方に参加してもらうことができた。
- ・市と子育て世代、他の世代を含めた市民がつながる場となった。
- ・環境に対する関心を向けてもらうきっかけ作りとなった。
- ・大勢の方に環境センターを知って、足を運んでももらうことができた。
- ・本来廃棄されるものが、再び活用されることにより、廃棄量を減らし、環境へ配慮した取り組みとなった。

○協働の成果

- ・市と協働で取り組み、市の施設で定期的に行なったことで、市と子育て世代との接点をつくることができた。
- ・様々な世代の交流の場としても機能することで、子育てしやすい街づくりの一翼を担うことができた。
- ・市内の大勢の方に環境への関心を持ってもらう場を提供することで、SDGsの推進につながった。

● 活動の様子



市民提案型協働事業⑤

事業名：イベント型子どもの居場所づくり事業

団体名：特定非営利活動法人 AKTO

担当課：こども政策課

事業費：350,788円

補助金額：350,000円

団体情報



▲Facebook

こどもの居場所 ボランティア 募集&講習会

ボランティア仲間とこどもへの
おしゃべりや遊びの機会を増やします！
こどもの居場所づくりに一緒に
ぜひ活動してみませんか？

会場：狭山市立中央公民館 第4学習室

参加対象：ボランティアに共通の興味のある方
ボランティアの内容：こどもたちと遊びなどの交流

新井 豊吉 先生
（こども政策課長、特定非営利活動法人AKTO代表理事）

詳細お問い合わせ：050-3633-9133（AKTO 0480）

こどもの居場所
ねこのたまり場

【いつやるの？】
2024年 6月26日 市民センター 第5学習室
7月21日 中央公民館 第5学習室
8月28日 中央公民館 第5学習室
9月25日 中央公民館 第5学習室
10月23日 中央公民館 第5学習室
11月27日 中央公民館 第5学習室
12月25日 中央公民館 第5学習室
2025年 1月29日 中央公民館 第5学習室
2月26日 中央公民館 第5学習室
3月26日 中央公民館 第5学習室

【場所はどこ？】
・市民センター
・中央公民館
・狭山市立中央公民館
（※参加費無料）

【どんなところ？】
・カードゲームやボードゲーム
・おもちゃや本が豊富にある
・ハンモックやテントがある
・静かにしていい
・おしゃべりしていい
・おしゃべりしていい
・おしゃべりしていい

【場所はどこ？】
・市民センター
・中央公民館
・狭山市立中央公民館
（※参加費無料）

【どんなところ？】
・カードゲームやボードゲーム
・おもちゃや本が豊富にある
・ハンモックやテントがある
・静かにしていい
・おしゃべりしていい
・おしゃべりしていい
・おしゃべりしていい

事業概要

毎月1回、主に中学生を対象に「何もしなくてもいい」をコンセプトにした居場所を開催。また、隔月でイベントを開催。事前にボランティアの募集を目的としたこどもとの接し方講習会を開催。

事業の目的・ねらい

- ・こどもの心の負担感の軽減。
- ・居場所の周知。
- ・活動を通じて、こどもとの関係性の構築。
- ・問題が発見された際には行政等への支援に繋げていく。
- ・居場所のニーズを探り、今後の居場所づくりに活かす。



活動内容(事業スケジュール)

実施時期	実施内容
R6.4～R7.3	子どもの居場所(毎月1回開催)
R6.4	講習会準備、居場所名の検討・決定、チラシ・ポスターのデザイン作成
R6.5	チラシ・ポスターの印刷および配布
R6.6	ボランティア募集&講習会開催
R6.8	たこ焼きパーティー開催
R6.10	ハロウィンイベント開催
R6.12	クリスマスイベント開催
R7.2	ボードゲームイベント開催

● 事業の成果

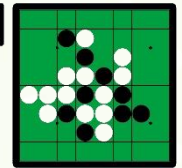
- ・講習会には10名が参加し、こどもとの接し方、特に発達障がいの子どもについて学ぶことができた。
- ・子どもの居場所(ねこのたまり場)は全10回開催し、延べ82名のこども達(小学生～高校生)の参加があった。その中でも全10回とも参加してくれたこどもや定期的に参加してくれたこども達があり、「居場所」としての場づくりができたと考える。



● 今後の展望・課題



- ・講習会は周知が足りなかったこともあり、次回はもう少し余裕のある計画をしたい。
- ・子どもの居場所(ねこのたまり場)に来たいが曜日が合わないというこどもの声を聞いており、次回は試験的に数回程度土曜日の開催も検討している。
- ・特にグループでの参加者は他の参加者とあまり交流しないが、気になった時に気軽にコミュニケーションができるような配慮を検討したい。



● 協働事業の評価(団体と担当課で実施)

○事業内容の評価

- ・他団体との繋がりも、こども達との繋がりも、団体の認知度もない状態からのスタートであったが、全てを少しずつ深めることができた。
- ・居場所に毎回、または定期的に参加してくれるこどももおり、居場所として魅力を感じてもらえる事業を実施できていたと考えられる。
- ・継続した事業運営のために、開催場所の確保や資金の調達方法を模索していく必要がある。

○協働の成果

- ・居場所の開催日には毎回担当課が見学に来てくれたため、情報交換がしやすく、運営にあたってのアドバイスや協力が得られた。
- ・市のホームページやフェイスブックへの情報掲載など、広く周知を行なえたとともに、信頼も得やすかった。また協働事業ということで学校への周知なども可能となった。

● 活動の様子



◀ 講習会の様子



◀ たまり場の様子



◀ たこ焼き作りの様子

市民提案型協働事業⑥

事業名：Hospitality Halloween
「AIクッキング(お菓子作り体験)、
トリックオアトリート、フотスポット」

団体名：Hospitality Halloween

担当課：柏原地区センター

事業費：1,121,163円

補助金額：354,000円



Hospitality
Halloween
ホームページ

団体情報

● 事業概要

西武学園の狭山キャンパスで地域のこどもから高齢者までの幅広い年代が楽しめる内容で文理の生徒学生が企画した「Hospitality Halloween」を開催。

● 事業の目的・ねらい

- ・こどもと高齢者の触れあいを可能にする楽しい場を提供し、市民の健全な精神をサポートすること。
- ・デジタルコンテンツのアトラクションを通して、市民のデジタル教育に対する意識を育成する機会を提供すること。
- ・学校を取り巻く地域の活性化に貢献することをこの事業で実現したい。

● 活動内容(事業スケジュール)

【AIクッキング】



実施時期	実施内容
R6.6	実施内容、運営の企画打ち合わせ
6～8	AIクッキングの実施内容、運営、広報の企画検討、募集方法の検討
R6.9	使用教室、設備・器具・備品等の確認と当日の運営打ち合わせ
R6.10	材料(食材・備品)の確認、会場の装飾
R6.11～R7.3	アトラクション部会(今年度の反省、次年度に向けて) 令和6年度決算報告作成

【トリックオアトリート】

実施時期	実施内容
R6.6・7	実施内容、運営・広報等の企画打ち合わせ
R6.8	柏原地区センター訪問 事業内容の説明および募集方法の打ち合わせ
R6.9	柏原地区センターと公民館だよりのHalloween原稿、ポスターチラシ作成
R6.10	参加希望者名簿および訪問地図の作成、案内(第2弾)作成
R6.11～R7.3	アトラクション部会(今年度の反省、次年度に向けて) 令和6年度決算報告作成

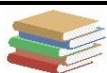
【フォトスポット】

実施時期	実施内容
R6.6・7	フォトスポットの設置場所・デザイン等企画検討
R6.8	オブジェの予算検討、各ロゴマーク配置デザインの検討
R6.9	製作を業者に委託
R6.10	作品設置
R6.11～R7.3	アトラクション部会(今年度の反省、次年度に向けて) 令和6年度決算報告作成

● 事業の成果

- ・初日約700名、2日目約2300名、合計約3000名の来校者があり、こどもから高齢者まで幅広く楽しめる場づくりができた。
- ・地域との交流ができるとともに、地域活性化の面で大きく貢献することができた。

● 今後の展望・課題

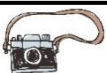


- ・生徒学生が企画する初めてのHalloweenということもあり、イベントの運営方法や各アトラクションの詳細等企画に時間がかかってしまった。
- ・結果、ホームページでの告知、ポスターやチラシの作成・配布等、広報活動が遅くなってしまった。
- ・今後は、広報活動がさらに早く展開できるように計画を立てるよう努めたい。

● 協働事業の評価(団体と担当課で実施)

- ・来場者からは「とても良い思い出になります」との言葉をいただいた。
(フォトスポット)
- ・デジタル教育の場を提供し、デジタルに対する意識を育成する機会になった。
(AIクッキング)
- ・家庭訪問が13家庭、柏原第8区第二自治会館でお菓子を配布したのが67名となり、こども達と地域の方々との触れ合いを皆さまに喜んでいただいた。
(トリックオアトリート)

● 活動の様子



AIクッキング



トリックオアトリート



フォトスポット



行政提案型協働事業①

事業名：集まれ、オンラインしゃべり場

団体名：NPO法人地域教育ネットワーク

担当課：こども支援部 こども支援課

委託料：500,000円

集まれ、オンラインしゃべり場

検索



▲NPO法人地域教育
ネットワークホームページ

団体
情報

● 事業概要



若者のしゃべり場としてアプリとAI利用できるネットの居場所で、若者スタッフを中心に専門家との学びを通して、個々の抱える問題の解決につなげるために、市民スタッフが支援する。

● 事業の目的・ねらい

- ・若者が抱える課題をネットの居場所で吐露できたり、チャットで自分のヒントや気づきを得る。
- ・アプリやAIを利用していくことで、若者スタッフだけではなく、市民のデジタルシティズンシップに繋げる。
- ・課題解決に向けて、チャットの内容を踏まえ、世代間の意識と若者への対応を知り得る場にする。

● 活動内容(事業スケジュール)



実施時期	実施内容
R6.4	Zoom会議 (Discordセキュリティ、運営の確認、マニュアル作成)
R6.5	チャット研修会 (Discordの使い方とセキュリティ、アプリとのリンク研修)
R6.7	「集まれ、オンラインしゃべり場」のチラシ配布
R6.10・11	ズーム会議(配布カードデザイン決定) 講演会、カード配布
R7.1	アプリ研修会及びDiscord利用者検証
R7.3	研修会 (Discordのチャンネルの見直し、チャットの注意事項、周知)

● 事業の成果

- ・アプリのチャンネルの見直しや、チャットの内容を確認して、参加している若者の課題や共感する書き込みの言葉を若者視点で考えることができた。
- ・継続していくうえで、しゃべり場のPRを若者視点で考え、改善していく課題が見つけれられたため、スタッフがSNSの活用取り組みにも若者たちと検討する機会が増えた。
- ・しゃべり場のチャットを見て、スタッフでは考えられない若者スタッフの考えを知ることができ、参加している人たちの学びになった。

● 今後の展望・課題

- ・狭山市の行政提案型協働事業だが、狭山市限定で考えるのではなく、事業をSNSで広く周知することで、多くの若者が参加できるようにする。気づきやアフターケアの観点で運営を行い、個人的に問題がある場合や対応については、アプリからの相談にアクセスしやすい方法を考える。
- ・今のアプリだけではなく、若者スタッフの意見を取り入れ、若者が集まりやすいネット環境を構築する。
- ・アプリを使用することによるセキュリティの理解や、チャットのフェイクなどを見分けるための研修を行う。

● 協働事業としての評価(実施団体と担当課で実施)

- ・協働事業の審査において、協働推進委員会委員から本事業の社会的意義や重要性についての評価をいただいたことは、事業を推進するにあたっての励みになった。
- ・協働事業の信頼をベースに、大学生や高校生がスタッフに参加し、本事業の利用者層にフィットした広報活動やコンテンツの制作を行うことができた。また本事業の一環で開催した講演会では、本番運営を全てこれら若者スタッフが担当し、彼らに貢献感や自尊心をもってもらった貴重な機会にもなった。
- ・担当課と定期的に報告や確認、示唆をもらう面談を行うことで、当事業についての自己検証、自己点検、課題の確認を行うことができた。

● 活動の様子



行政提案型協働事業②

事業名：災害時に活躍するアマチュア無線ネットワークの構築

団体名：狭山非常通信チーム

担当課：危機管理課

委託料：300,000円

団体情報



狭山非常通信チーム
SECT公式ブログ



● 事業概要

災害時に活躍するアマチュア無線ネットワークの構築をし、大規模災害時におけるアマチュア無線の活用に向けた体制の確立をする。

● 事業の目的・ねらい

- ・大規模災害時に市民間、行政職員間などの通信網としてアマチュア無線の活用
- ・アマチュア無線技士免許取得者への協力依頼及び育成
- ・非常時に活用できるよう日常でもアマチュア無線の活用促進

● 活動内容(事業スケジュール)

実施時期	実施内容
R6.6	アマチュア無線用送受信機を購入し市庁舎危機管理室隣通信室に設置 屋上のアンテナ設置台にアマチュア無線アンテナを設置
R6.4～ R7.3	全体会議開催(オンライン15回、対面2回) SECTとしてアマチュア無線の社団登録をし、コールサインを取得
R6.8～ R7.1	感度交換訓練実施(SECTとして感度交換訓練の実施)
R6.11	総合防災訓練での情報通信訓練、感度交換訓練、一般の体験運用
R7.2	「ラジオテックフェア」(専門家による講演会)開催
R7.3	「おやこでたのしく防災」イベント参加 広瀬公民館

● 事業の成果

- ・市庁舎危機管理室隣通信室に設置
- ・市庁舎屋上にアマチュア無線アンテナを設置
- ・感度交換訓練による他地域との感度交換確認
- ・総合防災訓練での情報通信訓練、感度交換訓練及び一般の体験運用による一般の方への周知
- ・市民参加の「ラジオテックフェア」開催成功

● 今後の展望・課題



- ・市内地区センターへの無線機の設置
- ・市職員及び市民へのアマチュア無線の周知、啓蒙活動
- ・災害時に活用できるよう、アマチュア無線体験運用の開催
- ・市職員、消防団関係者へのアマチュア無線従事者免許の取得促進



● 協働事業としての評価(実施団体と担当課で実施)

市庁舎屋上にアマチュア無線アンテナを設置することができた。また、市民交流センターにて専門家によるセミナーを開催することで市民の方に非常通信の重要性を広めることができた。

● 活動の様子



市庁舎へのアンテナ設置



防災訓練



おやこでたのしく防災



過去3年分の提案型協働事業一覧

● 市民提案型協働事業

No	実施年度	事業名	団体名	担当課
1	令和5年度	ふるさと狭山の遺産「広瀬斜子織」の普及啓発と復元	狭山遊系会	社会教育課
2		いりそらマルシェ	いりそら	商業観光課
3		音楽を通じた“孤育て”支援 ー打楽器のワークショップで作る交流の場ー	こそだて支援 comono	自治文化課
4		にじいろ体操教室	一般社団法人 mama's community	障がい者福祉課
5		高齢者のための元気になる音楽レクリエーション 「ヨッコラショーズ」	童謡を歌う会 そよ風	高齢者支援課・ 介護保険課
6		狭山市探訪ウォーキングマップの制作	NPO法人 さやま生涯学習を すすめる市民の会	社会教育課
7	令和4年度	ふるさと狭山の遺産 「広瀬斜子織」の普及啓発と復元	狭山遊系会	社会教育課
8		いりそらマルシェ	いりそら	商業観光課
9		音楽を通じた“孤育て”支援 ー打楽器のワークショップで作る交流の場ー	こそだて支援 comono	自治文化課
10		ONE-SEVEN MARKET	ONE-SEVEN	環境課
11	令和3年度	犯罪被害者等支援事業	犯罪被害者・ 交通被害者等 支援の会	交通防犯課
12		障害のある人もない人も楽しめる ビリヤード教室	さやまビリヤード 愛好会	障害者福祉課
13		ふるさと狭山の遺産 「広瀬斜子織」の普及啓発と復元	狭山遊系会	社会教育課
14		見えない違いに目を向ける「まちづくり」 In SAYAMA	MA-ZIRY	人権推進室 (政策企画課) 男女共同参画 センター (市民文化課)
15		道にお絵かき！？大っきなところに描いてみよう♪ ～コロナなんかには負けないぞ！～	Sayama Second Stage	協働自治推進課

● 行政提案型協働事業

No	実施年度	事業名	団体名	担当課
1	令和5年度	犯罪被害者等支援事業	一般社団法人 犯罪被害者等支援の 会「オリーブ」	市民相談課
2		集まれ、オンラインしゃべり場	NPO法人地域教育 ネットワーク	こども支援課
3		いりそらタウンミーティング	いりそら	都市計画課
4	令和4年度	障がいのある方が教える「ボッチャ教室」	社会福祉法人 茶の花福祉会 大樹の家	障がい者福祉課
5	令和3年度	狭山市版食のセーフティネットの仕組みづくり	フードバンクさやま	福祉政策課 資源循環推進課 こども支援課
6		シンサヤマミューラル事業	新狭山北口商店会	商業観光課

Ⅲ. 協働事業の実施の流れ



提案型協働事業チェックシート

提案型協働事業(市民提案型協働事業・行政提案型協働事業)として実施できる事業には一定の要件があります。

事業提案の前に、まずは提案しようとする事業が要件を満たしているかチェックしましょう。(詳細な条件については別途ホームページ等でご確認ください)

提案しようとする事業は、「地域で困っていること(地域課題)や社会的課題の解決につながる事業」or「狭山市をより魅力的なまちにする事業」ですか？

YES

その事業は非営利な活動であり、市民の公益につながりますか？

YES

その事業は“自分たちだけの力”では実施できないものですか？

YES

その事業は行政と協働することによる相乗効果の期待できるものですか？

YES

その事業は『行政提案型協働事業』として募集されているテーマに合致する事業ですか？

NO

提案型協働事業の要件には該当しません。

NO

NO

提案型協働事業の要件には該当しませんが、事業の実施にあたって行政と協働したい事項がある場合は、関係する所管課にご相談ください。関係する所管課が不明な場合は自治文化課にご相談ください。

NO

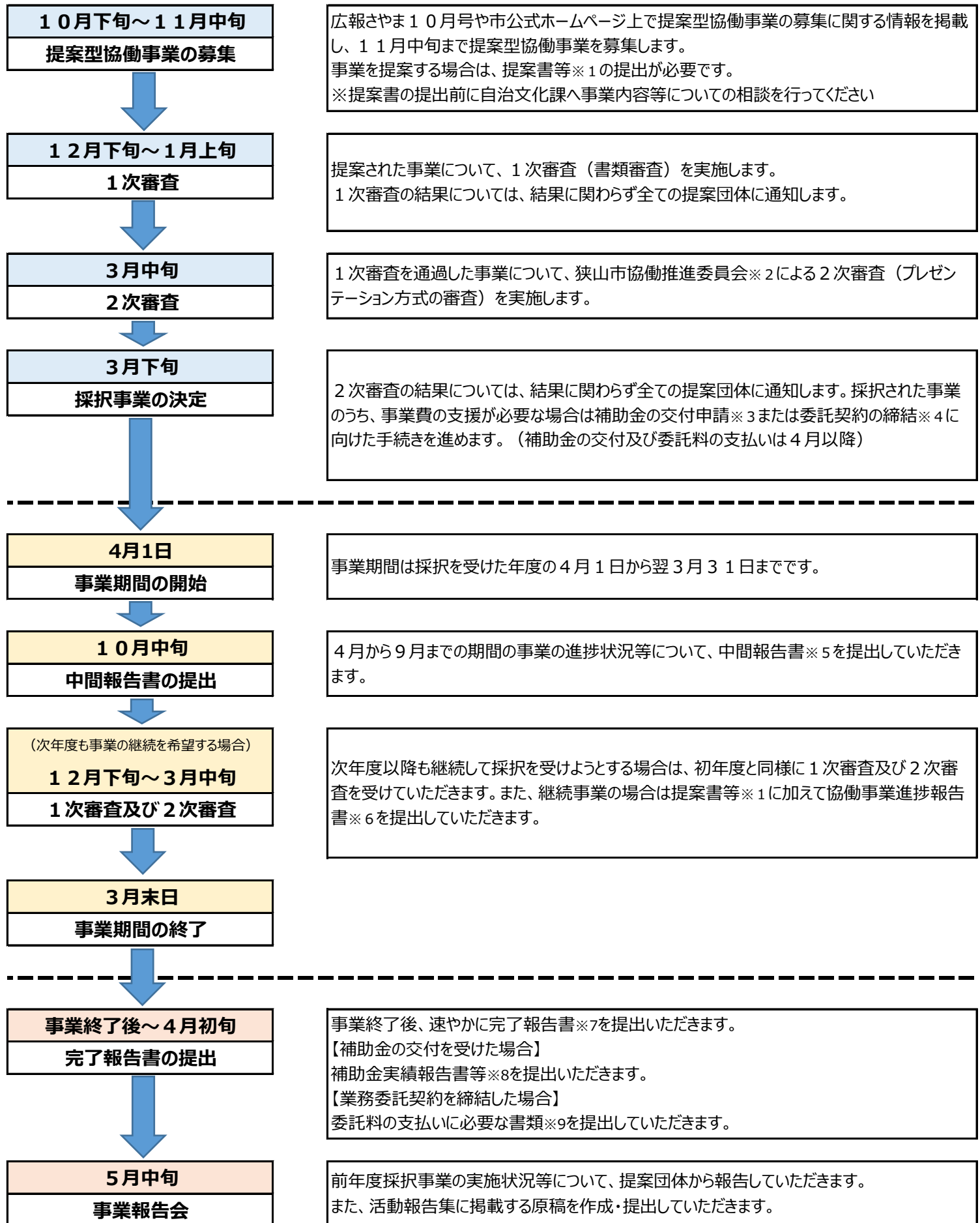
NO

『市民提案型協働事業』として事業を提案してみましよう！

YES

『行政提案型協働事業』として事業を提案してみましよう！

協働事業提案制度（提案型協働事業）年間スケジュール（新規で事業の提案を行う場合）



※上記スケジュールは変更となる場合があります

※ 1 事業を提案する場合は①協働事業に関する提案書(様式第1号)、②協働事業に関する企画書(様式第2号)、③協働事業収支予算書(様式第3号)、④協働事業実施スケジュール(様式第4号)、⑤協働事業提案団体概要書(様式第5号)等の提出が必要です。

※ 2 協働推進委員会とは、狭山市協働ガイドラインに基づき、狭山市における市民との協働を市民の主体的な参画により総合的かつ計画的に推進するため、市民(市民活動団体及び市内企業関係者など)及び市職員で構成する委員会です。

※ 3 補助金の交付を受ける場合には、狭山市協働事業補助金交付申請書の提出が必要です。

※ 4 委託契約の締結にあたっては、市が作成する仕様書に基づいた①見積書の提出と②契約書の作成等が必要です。

※ 5 中間報告書では、4～9月までの活動実績と10月以降の活動予定、収支の状況について報告していただきます。

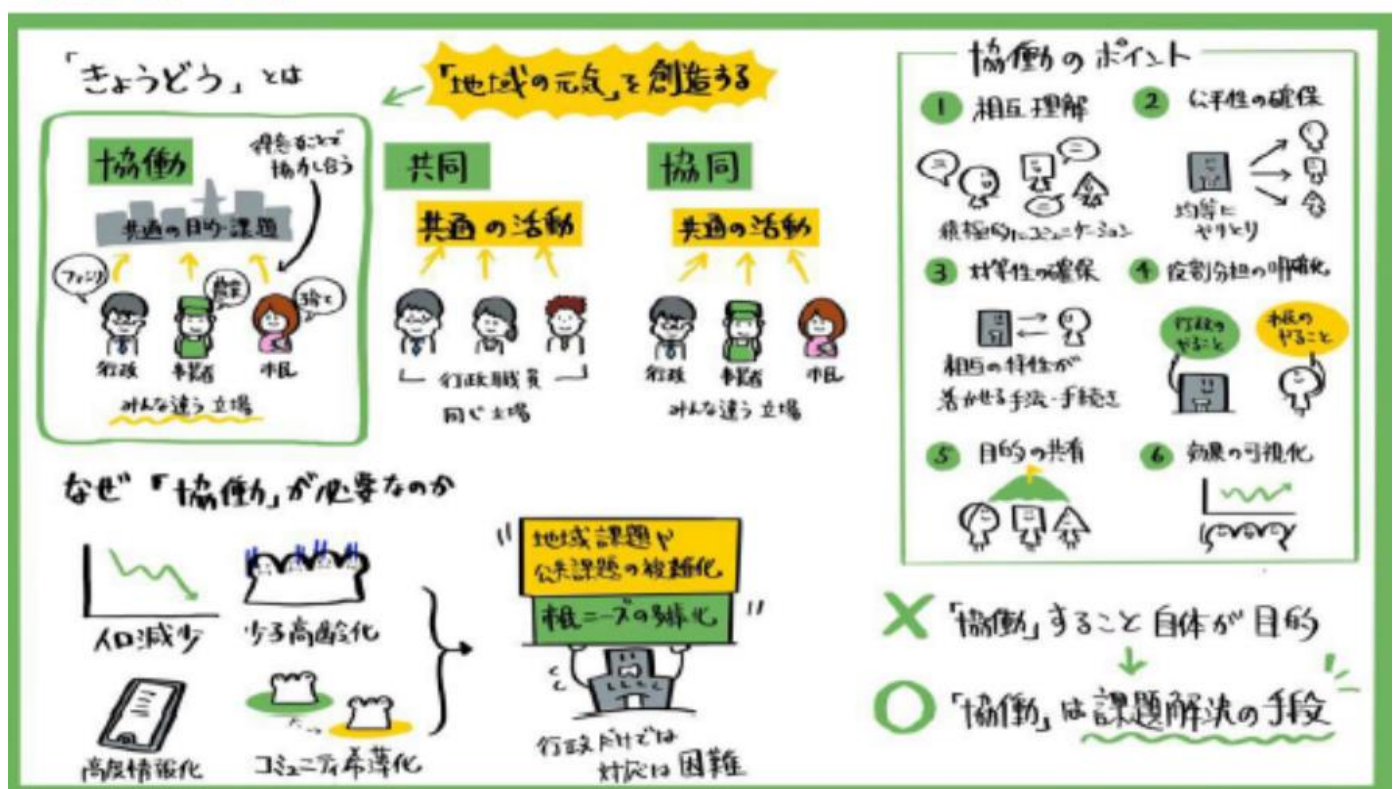
※ 6 協働事業進捗報告書では、4～翌1月までの活動実績と収支の状況等について報告していただきます。すでに事業が完了している場合は進捗報告書に代えて完了報告書を提出していただきます。

※ 7 完了報告書では、4～3月までの活動実績と収支の決算等について報告していただきます。

※ 8 事業終了後、狭山市協働事業補助金実績報告書を提出いただき、補助金の精算を行います。なお、確定した補助金額が交付済みの補助金額を下回る場合は、補助金の一部を返還していただきます。

※ 9 委託業務の完了通知書及び委託料の請求書を提出していただきます。確定した事業費が契約時の委託金額を下回る場合は、変更契約を行います。なお、委託料の概算払いを受けている場合は、変更契約後、支払い済みの委託料の一部を返還していただきます。

【協働のイメージ図】



参 考

提案型協働事業についての詳細やよくある質問等をまとめた「提案型協働事業のしおり」を作成しております。

提案型協働事業のしおりは、右側のQRコードからご確認いただけますので、事業を提案いただく際の参考にしてください。



▲協働事業の詳細についてはこちら

●令和7年度提案型協働事業一覧

令和7年度提案型協働事業は下記の10事業となります。

事業内容や実施状況については、狭山市公式ホームページからご確認ください。



▲狭山市
公式ホームページ

・市民提案型協働事業(7事業)

	事業名	団体名
1	にじいろ体操教室	一般社団法人 mama's community
2	狭山市探訪ウォーキングマップの制作	NPO法人さやま生涯学習 をすすめる市民の会
3	おさがり交換会	特定非営利活動法人 こそだて支援 comono
4	イベント型子どもの居場所づくり事業 (ねこのたまり場)	特定非営利活動法人 AKTO
5	Hospitality Halloween 「AIクッキング(お菓子作り体験)、 トリックオアトリート」	Hospitality Halloween 実行委員会
6	人・動物福祉の協働活動と人材育成	さやま猫預かり ボランティアサークル
7	子育てたち	NPO法人 いりそ支え合いたち

・行政提案型協働事業(3事業)

	事業名	団体名
1	集まれ、オンラインしゃべり場	NPO法人地域教育 ネットワーク
2	災害対策本部と地域を結ぶ通信網の確立	狭山非常通信チーム
3	青少年のための文化体験フェスティバル	狭山市文化団体連合会

自治文化課では、狭山市公式ホームページのほかInstagramやフェイスブックにおいて、事業の様子や市民活動全般に関する情報を発信しています。ぜひ、フォローをお願いします。



▲Instagram
アカウント



▲フェイスブック
アカウント

発行元 狭山市市民部自治文化課
〒350-1380 埼玉県狭山市入間川1-23-5
TEL:04-2937-5749(直通) FAX:04-2954-6262
Mail:culture@city.sayama.saitama.jp



狭山市 七夕の妖精

おりひい

提案型協働事業活動報告集

発 行／令和7年

発行者／狭山市役所 自治文化課

住 所／〒350-1380

埼玉県狭山市入間川1丁目23番5号

電 話／04-2953-1111(内線2514)

FAX／04-2954-6262(代表)